

日野市立教育センター所報

教育センターだより

第24号 平成23年6月30日発行



平成23年6月8日
教育センター 火災避難訓練

日野市立教育センター

〒191-0042

日野市程久保550

TEL 042-592-0505

FAX 042-592-1148

開館時間 午前8時30分
～午後5時15分



日野市立教育センターが目ざすもの

所長 加島 俊雄

教育センターは、平成16年、それまでの日野市立教職員研究室を改編充実して設立され、皆様方のご支援のもと本年で8年目を迎えました。教育センターは、「調査研究」、「教員研修」、「教育相談」の3つの事業を実施し、「教育のまち日野」に向けてその一翼を担っています。

「調査研究」では、日野教育のシンクタンク的な役割を期待され、これまで、日野教育の今日的な課題について実践的な研究を先行的に進め、その成果をいずれも日野市教育委員会の重点施策に結び付けています。また、学校現場と連携した郷土教育、理科教育、外国語（活動）教育などの継続的な研究は、各学校の校内研究と相まって、「授業研究の日野」を支え、推進しています。

「教員研修」も教育センターの調査研究に基づき体系化され、現在、教育委員会との連携の下で計画的に推進しています。近年の若手教員の増加に対しその育成が重要課題となっていますが、教育センターの専門スタッフが学校を訪問し実際の授業に即した個別指導を行うなど、若手教員研修の充実を図っています。

「教育相談」は、一般教育相談と「わかば教室」に分かれます。前者は電話相談、来所相談等により、悩み・課題を抱える子どもたち・保護者・市民を、専門相談員が支えています。また、わかば教室は、不登校の子どもたちの学ぶ場としてeラーニングを含め、子どもたちの実情に即して学習や進路等を一緒に考え応援しています。

教育センターの事業内容について、webサイトでの紹介に加え、「教育センターだより」、「教育センター紀要」、「郷土日野指導事例」などの刊行物も発行していますので、ご一読いただければ幸いです。

皆様方のご協力に感謝するとともに引き続きご支援をお願い申し上げます。

I 調査研究部

調査研究部では、日野市の当面する教育課題である「ICTを活用した実践的な研究」「理科教育推進の研究」「郷土教育推進の研究」「ひのっ子教育21開発委員会研究」の4研究を関係機関のご協力の下、進めています。以下、年間研究のあらましをお知らせします。

1 ICT活用研究委員会

教育経営係

ICT環境整備とICT活用に関する調査研究と推進を図るため、今後のICT環境整備のあり方の検討とICT活用実践の推進と実践事例集への追加、ICTマークの全校取得を目指す。

(1) 組織・運営

- ①学識経験者 信州大学教育学部教授 東原義訓
- ②委員長 平山小学校校長 五十嵐俊子
- ③副委員長 大坂上中学校校長 岡部秀敏
- ④副校長 有賀康美（日野第四小学校） 三浦利信（三沢中学校）
情報システム課 長谷川浩之（課長） 関裕実（主査） 野島孝行（主任）
教育委員会 佐野榮一（教育部長） 佐藤正明（指導主事）
教育委員会庶務課 中島政和（課長） 中田秀幸（課長補佐） 清水辰也（主査）
ICT活用教育推進室 梶野明信（室長） 関戸寿憲（主任） 上野浩司（主任）
教育センター所員 上條茂 菊川民雄 下山栄子 計19名

(2) 研究内容

- ①今年度のリース切り替えに伴う環境整備のあり方検討
8月中には、方向性を出していく。
- ②大型モニタを含むICT活用実践を実践に追加
 - ・小学校は全校から優れた実践を集め、掲載数を追加する。
 - ・中学校は、全教科の実践を複数集める。各校、各学期に1事例以上を提出する。事前に予定を収集して教科や活用法により取り上げる事例を調整してWebサイトに掲載する。

(3) ICTマークの全校取得の推進

[審査内容]

「授業での活用部門」……授業での教師・児童の効果的な活用、情報安全教育への対応など5項目

「校務での活用部門」……校務支援システムの週案時数管理・成績管理・ひのっ子宝箱、掲示板機能の活用など5項目

「セキュリティ部門」……USBメモリー、セキュリティカードの保管・管理、私物パソコンネットワークへの接続禁止、私物記録媒体が一切存在しないことなどの10項目（この部門は、平成22年度全校取得）

(4) 委員会開催

定例を年5回とし、必要に応じてWG（ワーキンググループ）を開催する。

2 郷土教育推進研究委員会

ふるさと教育係

～日野の自然・歴史・文化・産業・人を授業で活用する～

日野市は「緑と清流のまち 日野」「新選組のふるさと 日野」「芸術・文化の薫るまち 日野」「教育のまち 日野」等のキャッチフレーズがあります。このキャッチフレーズは、豊かな自然・歴史・文化、そして人材に恵まれた日野市の特色を的確に表現しています。この日野で生まれ育ったことを自信と誇りにできる日野を愛する「ひのっ子」を育成し、将来の日野を背負って立つ「日野人」の育成へとつなげていくことが日野市の教育の大きな課題となっています。

郷土教育推進研究委員会では、以上の課題を解決するために、郷土の特色やよさを知り、郷土に対する誇りと愛着をもった「ひのっ子」の育成に取り組んでいます。研究の成果を毎年、「郷土日野」指導事例集としてまとめ発行しています。現在第6集まで発行しています。日野市立教育センターのホームページで見られますので、是非一度開いて下さい。今後、郷土教材が、ますます小・中学校の授業に生かされるとともに、家庭でも教材とした地域を訪ね、家族で日野のよさを再発見していただけることを心より願っています。

(1) 目 的

- ①郷土日野の自然・歴史・文化・産業・人に親しみ、郷土のよさや特色を知り、郷土に対する誇りと愛着をもった「ひのっ子」を育成する。
- ②「郷土日野」指導事例第7集を作成し、その成果を各小・中学校や各博物館・図書館等の関係機関で積極的に活用されるよう普及・啓発活動を進める。
- ③教職員対象の研修会で郷土のフィールドワークや実践事例の発表会を実施し、郷土教育を実践できる指導力ある教員を育成する。

(2) 内容・方法

- ①日々の授業で活用できる郷土教材を収集・開発する。
- ②各小・中学校で実践できる指導計画を作成し授業実践を行う。
- ③教職員対象のフィールドワークや実践事例発表会を開催する。
- ④以上の実践は、学校が博物館・図書館等関係機関と連携・協力して行う。
- ⑤郷土教材や実践事例を「郷土日野」指導事例第7集にまとめる。
- ⑥「郷土日野」指導事例第7集を電子データ（PDF）化し、ホームページに掲載する。

(3) 組織・運営

- ①委員長 日野第一小学校長 中島和夫
- ②副委員長 日野第二小学校副校長 秋田克己
- ③委員 日野第一小学校 馬島誠 日野第二小学校 瀬川敦 日野第五小学校 亀田貴彦
潤徳小学校 西沢庸 旭が丘小学校 荒木聖男 東光寺小学校 永江悟大
仲田小学校 森田誠司 七生緑小学校 小坂克信
郷土資料館 白川未来 新選組のふるさと歴史館 金野啓史 中央図書館 星まゆみ
- ④学識経験者 會田満 吉野美智子
- ⑤事務局 市教委指導主事 長崎将幸 教育センター 小杉博司 計17名

3 理科教育推進の研究（理科教育推進研究委員会）

教科等教育係

ひのっ子の基礎学力の向上を目指し、魅力ある理科授業を展開し、「誰でも好きになる魅力ある理科授業」を構築するため、教育センターの支援の在り方を検討し、支援を推進します。

（１）研究の目的

①教師が魅力ある理科授業を展開するための教育センターの支援の在り方を明確にする。

- ・ コア・サイエンス・ティチャー(CST)や外部の諸機関を活用した研修会等
- ・ 理科支援等配置事業に関する支援 ・ 外部の諸機関との連携
- ・ 「理科ねっとわーく」等、ICT を活用した授業の推進 ・ 情報の伝達

②理科支援センターとして、理科教育の環境整備を進める。

- ・ 教育センターの理科室の経営 ・ 日野の自然の教材化 ・ 教材の提供

（２）研究の方法

①理科教育を推進する理科支援センターの役割について研究をする。

②理科支援員、CST の活用や外部の諸機関と連携した研修会のあり方を検討し、実施する。

③市内の諸機関との連携や活用、地域の教材化について検討する。

（３）組織・運営

委員長・副委員長：小・中学校校長会代表者

委員：小・中学校副校長会代表者、理科教育の有識者、CST 専属理科支援員、CST、指導主事、教育センター所員

（４）活動日程

①理科教育推進研究委員会・・・年間５回を予定

②研修会等

４月 22 日(金)午後：「昆虫が苦手な先生のための昆虫教室」多摩動物公園

７月 28 日(木)全日：理科実技研修

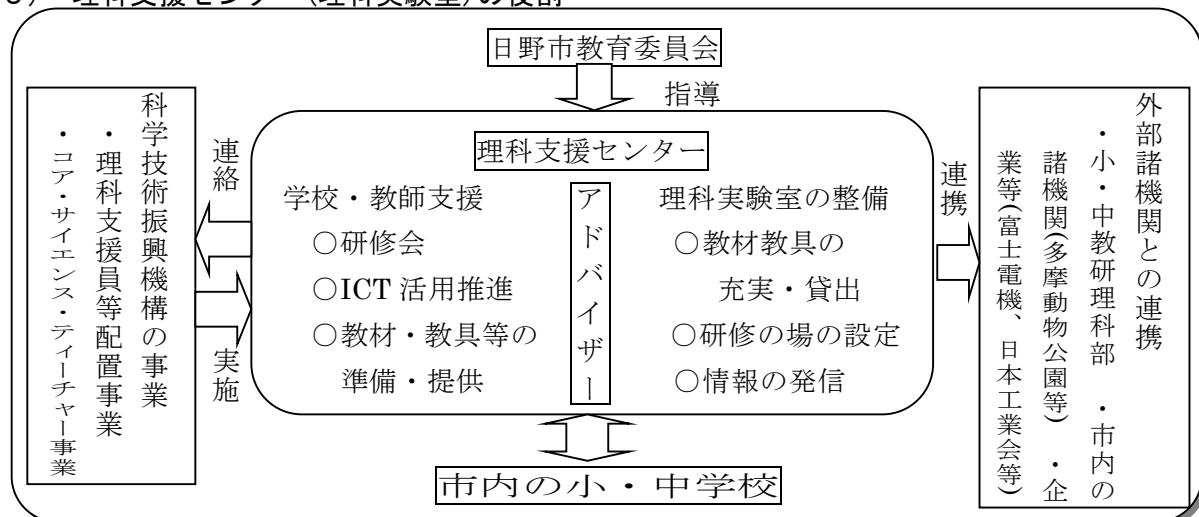
７月 29 日(金)午後：理科実技研修(デジタル教材「理科ねっとわーく」)

８月 １日(月)全日：理科実技研修・富士電機株式会社

８月 23 日(火)全日：昆虫スキルアップ研修・多摩動物公園

12 月 26 日(月)午前：「電気の利用」研修会 日本電機工業会・教育センター

（５）理科支援センター(理科実験室)の役割



4 ひのっ子教育 2 1 開発委員会研究

基礎調査研究係

日野市教育委員会は、日野市における学校教育の振興を図る施策の1つとして「ひのっ子教育 2 1 開発委員会」を設置しています。市内幼稚園、小・中学校から開発委員が集まり、幼児教育・教科・領域等の教育内容・教育方法の実践的研究を行っています。昨年度は、「小学校外国語活動と中学校英語の円滑な接続」を全体の研究テーマとし、小・中学校から開発委員が集まり、効果的な接続の在り方を追及してきました。

今年度は、新学習指導要領が完全に実施される年です。また、日野市教育委員会の平成23年度主要事業、第4項目「時代の要請に応える力の育成」の達成のために、小学校・外国語活動、及び中学校・外国語の指導研究を行うことになりました。昨年度に研究されている成果をふまえ、今年度は、小・中学校の円滑な接続という視点で、小・中学校の交流（教師、児童・生徒）の機会を継続的なものにしつつ、外国語活動・外国語の在り方について、「指導法、アクティビティ、教材・教具、評価など」の開発・研究に取り組むことになりました。基礎教育研究係は、教育センターからの研究協力として委員会への支援を行います。

（1）運営方針

平成23年度日野市立教育センター事業内容にある小学校外国語（英語）活動と中学校英語（学習）教育の円滑な接続について、「指導計画・アクティビティ」「授業作り・指導方法」「教材・教具」「評価」の研究グループを編成し、開発・研究を行い、円滑な接続の在り方を明らかにする。

（2）研究の内容及び方法

①内容「指導計画・アクティビティ」「授業作り・指導方法」「教材・教具」「評価」

○ブロックごとのテーマに基づいて授業実践研究及び提言（小学校外国語活動の授業研究 2 回、中学校の授業研究 2 回）、講師による講義

○ブロックごとの模擬授業（マイクロティーチング）の実施・検証

◎研究の目標として、小・中学校の円滑な接続の在り方について4つのブロックで開発研究した成果が見える形にする。

②方法 日野市立小・中学校25校を「4つ」に分け、中学校を中心としたブロックを組織し、グループワークとして研究を進める。

Aブロック 一中、大坂上中、一小、四小、七小、仲田小、東光寺小

Bブロック 三中、三沢中、八小、潤徳小、夢が丘小、七生緑小

Cブロック 七生中、平山中、二小、南平小、平山小、滝合小

Dブロック 二中、四中、三小、五小、六小、旭が丘小

③計画 一学期 ブロック提案による研究授業・協議会マイクロティーチング模擬授業

二学期 ブロック提案による研究授業・協議会（全体会）と発表会に向けて

三学期 発表会に向けて準備、研究のまとめ

（3）委員会組織

学識経験者 上智大学外国語学部英語学科准教授 和泉 伸一 先生

小・中学校長会 各1名 小・中学校副校長会 各1名

小学校 各校1名 中学校 英語科教諭 各校1名

担当指導主事 1名 教育センター所員(庶務) 1名

計31名

Ⅱ 研修部

1 教職員の研修

教職員研修係

研修係担当所員は、「研修係専任」2名、「調査研究部」「相談部」との兼任5名の計7名です。

研修係専任所員は、教育委員会が主催する下記の研修会の「受講受付」「当日の受付業務」「会場案内」「プレゼンテーション機器・音響設備設置」などの業務補助を行っています。

特に、夏季休業中に市民会館において開催される教科専門研修（全体会）では、当日の受付業務を教育センター所員全体で取り組んでいます。

ア 職層に応じた研修

- ・学校組織マネジメントⅠ（校長）
- ・学校組織マネジメントⅡ（副校長）
- ・学校組織マネジメントⅢ（主幹）

イ 現職経験に応じた研修

- ・若手教員育成研修（1年次）
- ・若手教員育成研修（2年次）
- ・授業力向上研修Ⅰ（3年次研修）
- ・授業力向上研修Ⅱ（4年次研修）
- ・10年経験者研修

ウ 教育課題研修

- ・評価、食育リーダー、人権教育理解推進、ICT活用推進、特別支援教育、リソースルーム、体力向上推進、幼・保・小連携教育 など

エ 特別課題研修

- ・理科実技研修、昆虫スキルアップ研修、郷土教育研修、夏季ICT活用研修、小学校外国語活動研修、幼児教育研修、

オ その他の研修事業

- ・教科専門研修（全体会）



4月19日(火) 若手教員育成研修（1年次）
大野正人教育指導担当参事の講話「社会人の常識・教師の基礎・基本」について傾聴する1年次教員

また現職経験に応じた研修では、若手教員育成のため、研修係兼任所員とともに、学校訪問を行ったり、教育センターでグループ指導を行っています。

(1) 若手教員育成研修（1年次） 42名

学校訪問を年間に3回行い、授業観察した後、授業の進め方について気づいたこと等を個人的にアドバイスしています。

(2) 若手教員育成研修（2年次） 34名

各学校で年間3回行う研究授業の中の1回に参加し、指導・助言をしています。

(3) 若手教員育成研修（4年次） 33名

年間1回学校訪問し、指導・助言をしています。

(4) 2年次・3年次研修会

8月24日(水)に教育センターで行われる予定です。1学期に実践した指導事例をビデオ等で報告し合う際、指導・助言をしています。

このような指導・助言を通し、担当所員と若手教員が気軽に声をかけられるような関係を作り、若手教員の悩みにも応えられるように努めていきたいと考えています。

Ⅲ 相談部

日野市立教育センターの相談部には、一般教育相談係と適応指導（わかば）教室運営などを行う学校生活相談係が設けられていて、教育相談事業を行っています。

1 一般教育相談

一般教育相談係

◇ 目的・内容

日野市に在住する幼児・児童・生徒及び保護者や市民、教職員等からの電話や来室による、不登校やいじめなど様々な教育相談に応じ、必要に応じて解決のための援助を行います。また、日野市の幼稚園・保育園・小学校・中学校や教育委員会等と連携を図り、教育相談の普及・浸透や研究・研修の推進、相談関係の施策等への積極的な協力に努め、以下の事業を行います。

（１）教育相談の実施

- ・知能・学業・性格・身体・性癖・進路・適性等に関する相談活動
- ・幼児・児童・生徒の生活指導についての指導・助言
- ・市内公立幼稚園・保育園、小学校、中学校等における学校教育相談との連携
- ・心身に障害のある幼児・児童・生徒の就学（園）相談への協力

（２）教育相談の外部諸機関や諸団体との連絡・情報交換

（３）研究・研修などの教育相談活動の充実に関すること

（４）センターだより、センター紀要の執筆、相談部紀要の発行

（５）適応指導教室「わかば教室」との連携

◇ 相談方法・時間

（１）電話相談（☎ ０４２－５９２－１１６０）

（２）来室相談（予約制）

電話相談で日時を調整し、面談や諸検査、箱庭・コラージュ・プレイセラピー等、来室者に応じた方法で相談を行います。

（３）子どもこころの電話相談（いじめ相談）（☎ ０４２－５９２－２７８２）

幼児、児童、生徒、保護者、学校関係者の相談に応じます。

相談時間は月曜日～金曜日の
午前１０時～午後５時まで
(土・日・祝・年末年始の休業日を除く)

◇ 今年度の主な取り組み

（１）相談環境の整備

面接室の美化や丁寧な相談に努めます。また、緊急時に備えて対応マニュアルを作成し避難訓練を実施するなど、来室者が安心して相談できる環境づくりに努めます。

（２）学校との連携

スクールカウンセラーや担任（管理職）との情報交換や専門性の提供に努めます。

（３）市教育委員会や他機関との連携

日野市サンライズプロジェクトへの協力や、市内や都内、また、他市の相談機関との連携もそれぞれの役割を踏まえながらさらに推進し、相談事業の充実に努めます。

2 学校生活相談

学校生活相係・わかば教室

学校生活相談係は、学校生活における精神的な悩み、人間関係での不満、不登校・登校渋り等、児童・生徒の環境をめぐる問題に関しての相談や支援、健全育成に関する調査並びに資料提供や助言を行っています。具体的な活動は次の通りです。

(1)相談活動

学校生活上の問題や不登校に関する相談、適応指導教室「わかば教室」に入室している児童・生徒への計画的継続的な個別面談

(2)「わかば教室」通室児童・生徒への指導・支援

「安心して過ごせる学びの場」づくり、学校復帰、社会的自立への援助

(3) 登校支援

学校訪問、不登校児童・生徒の早期発見と初期対応・予防、早期解決の推進、ひきこもり傾向の児童・生徒への働きかけ

(4) 学校・家庭・地域との連携

適応指導教室連絡会、活動状況報告の送付、保護者面談・保護者会・授業参観、通信、地域ネットワーク連絡会、スクールカウンセラー連絡会、地域を生かした体験活動

教育センター所員3名、カウンセラー2名（週5日分）、指導員4名の9名のスタッフで気持ちを新たに業務に当たっています。「わかば教室」の学習・生活全般にわたって、学生ボランティアの協力があります。教育センター3階が学校生活相談係のフロアです。

適応指導教室「わかば教室」（連絡先 ☎ 042-592-0863 FAX 042-592-1148）

「わかば教室」では、不登校や登校をしぶる児童・生徒の支援をします。具体的には、「わかば教室」に通う子どもたちが「安心して過ごせる学びの場づくり」に努めながら、好ましい人間関係、集団への適応能力、体力、学習への意欲、基礎学力、社会性や自立心の育成を目指し、個々の状況に応じて、個別あるいは少人数による指導・支援・相談をしています。

※入室を希望される方、内容を知りたい方はお気軽にご相談ください。



スポーツ大会

◇「わかば教室」の一日

朝の会で始まり、学習タイム(国・社・算/数・理・英・eラーニングを中心に個に応じた学習指導)、わかばタイム(曜日毎に、図工・音楽・作文・スポーツ・栽培を実施)、ミーティング、個別面接(計画的・継続的なカウンセリング)の時程を組んで実施し、帰りの会で終わります。週1回はスタッフ全員の話し合いの時間を設け、子ども一人ひとりの状況に応じた個別計画で指導・支援に当たっています。ふれあいを大切に、特に昼休みは、毎日元気にスポーツを楽しんでいます。

◇「わかば教室」の行事

遠足、地域観察学習、誕生日会、スポーツ大会、収穫祭、お茶会、地域の奉仕活動(老人ホーム訪問等)、夏休み学習会、音楽会、書初め、卒業・進級を祝う会等感動体験の重視、自らのよさや存在の大切さへの気づきの学習、定期的に行うカウンセリングで情緒を安定させ、子どもたちに自信を取り戻させていきます。

不登校児童・生徒への学習支援：e-ラーニングを実施しています

平成23年度より、日野市 e-ラーニング「ひのっ子学習システム」の教材は更新された学習内容も含まれました。教育センターでは、“わかば教室”の児童・生徒を対象とした e-ラーニング及び在宅(家庭)の児童・生徒を対象とした e-ラーニングの充実を実施しています。在宅(家庭)e-ラーニングは、日野市 e-ラーニング「ひのっ子学習システム」利用の手引きにそって実施しています。

1 “わかば教室”の児童・生徒を対象とした e-ラーニング

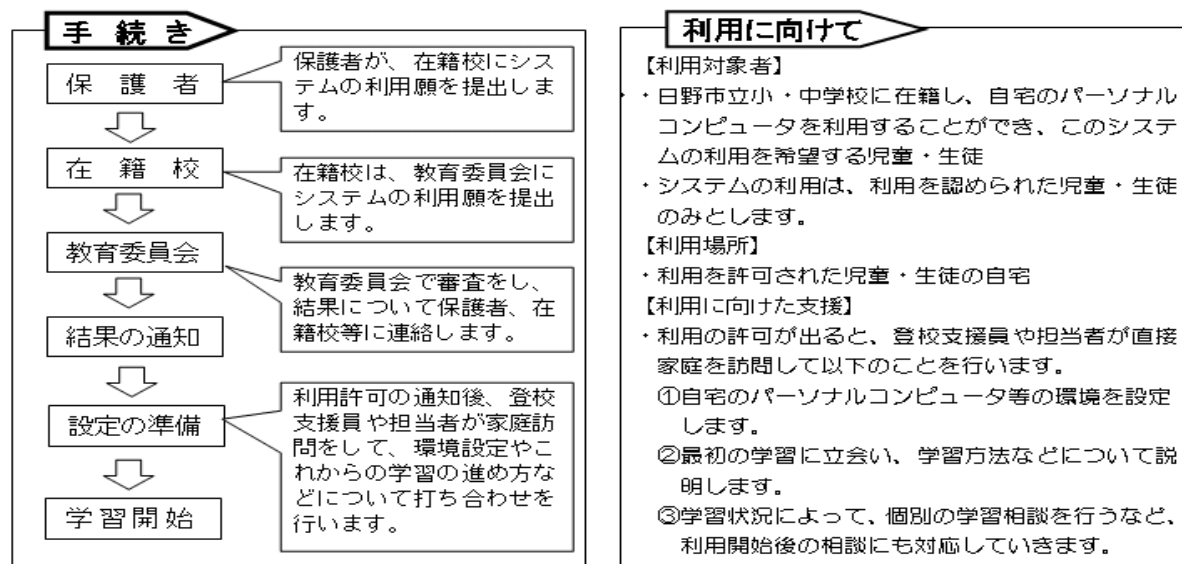
わかば教室に通室している児童・生徒に対して、わかば教室で学習できる機会を利用し、児童・生徒の学習支援や学校復帰へのきっかけを促しています。

固定学習日 月曜日：学習タイム1→中学生、学習タイム2→小学生

水曜日：学習タイム1→小学生、学習タイム2→中学生

2 「在宅(家庭)」の児童・生徒を対象とした e-ラーニング

さまざまな理由から学校に登校できないなど、長期間の欠席状況にある、またはそのような傾向にある児童・生徒に対して、日野市 e-ラーニング「ひのっ子学習システム」利用の手引きにそって、家庭で学習できる機会を保障し、児童・生徒の学習支援や課題解決への支援を行っています。



一日野市 e-ラーニング「ひのっ子学習システム」利用の手引きより(手続き・利用に向けて部分抜粋)ー

Q：自宅で e-ラーニングを始めるには？ A：まずは、在籍校に相談してください。

登校支援コーディネータ

不登校状態にある児童・生徒の豊かな育成を目指し、学校やわかば教室、関係機関との連携を進め、次につながる支援を行う。

- ・学校の支援(学校訪問・相談・助言ケース会議等)
- ・不登校実態調査の実施、集約
- ・関係機関との連携(家庭支援センター、特別支援教育チーム等)
- ・わかば教室・教育相談室・登校支援員(e-ラーニングを含む)との連携
- ・その他、登校支援にかかわる資料の作成等

教育資料・広報係より

教育センター図書室のご案内

教育センター図書室は、センター事業の推進の他に、日野市内幼稚園・小学校・中学校の指導の充実、教員の教育研究に役立つようにとの目的で設置されています。この図書室では、市立園・学校の教員の皆さんが、来所により様々な教育専門図書や教科書をみるができます。市役所内交換便を使って園・学校で見ることができます。下記をご覧ください、ぜひご利用いただくようご案内いたします。



- 閲覧資料 教育関係の専門図書資料 国語大辞典などの専門辞典
教科書（小学校：昭和61年～、中学校：昭和56年～）
日本教育新聞、内外教育（時事通信、平成13年～）、
初等教育資料（文科省）、中等教育資料（文科省）教育時報（（都教委）
市内小中学校の校内研究集録 郷土教育資料 日野市関係の資料
A V教材（DVD、CD-ROM、VHSビデオテープ） 他
- 閲覧時間 月～金曜、9時～17時
- 閲覧場所 センター3階図書室 （2階の事務室でお声がけをしてください）
- 貸し出し お気軽に教育図書・資料係へご連絡ください。
（校務支援メール、電話にて）

※ 現在、日野市内の各校で使用している「図書館管理システム」「横断検索システム」で本センターの全資料が検索できるように準備を進めています。現状でも、学校図書館にある図書管理用PCで本センター図書室の資料の一部が検索できます。

教育センターWeb サイトのご案内

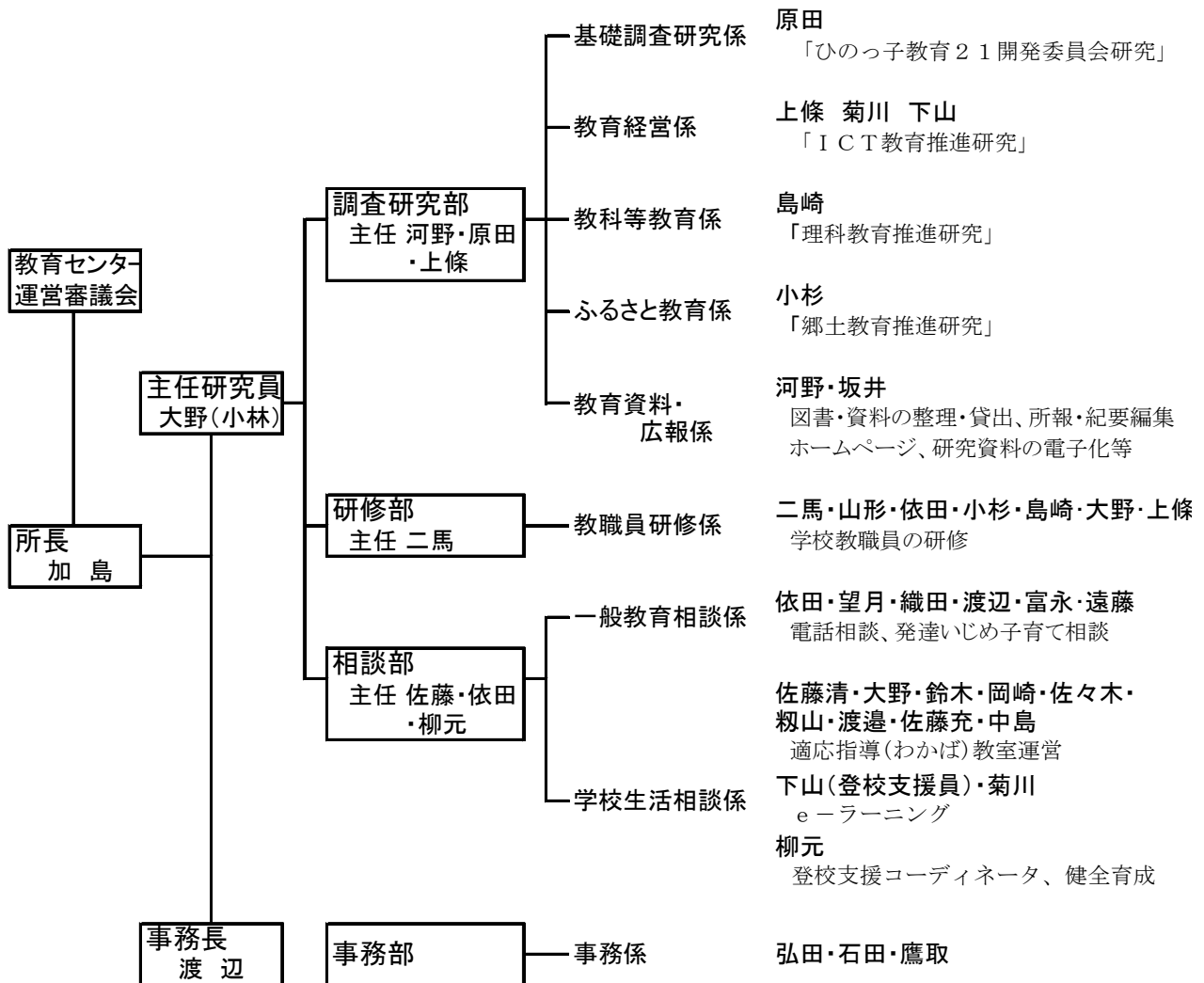
本センターでは、ご来所いただかなくても学校において指導研究の参考資料が得られるなど、教育情報センターの機能を充実させるよう努めています。

現在、PDFファイルダウンロードによって以下の資料を見ることができますので、ご利用ください。

- ・センター紀要（各年度の調査研究事業のまとめ 平成20～22年度）
- ・郷土日野指導事例・画像図版資料集（郷土教育推進研究委員会 第1～6集）
- ・ひのつ子教育21開発委員会研究のまとめ（平成22年度、中間報告、外国語活動）
- ・市内小・中学校校内研究集録の概要紹介

※本年度は、集録をPDFファイルにしてダウンロードできるように準備を進めています。

平成23年度 教育センター組織図



平成24年度使用中学校教科用図書見本本展示のお知らせ

本センターでは、平成24年度中学校教科用図書見本本の展示を下記のとおり行います。閲覧ご希望の方は、本センター3階図書室にお出ください。

- 期 間 平成23年6月17日(金)～30日(木)
- 時 間 午前9～12時、午後1～5時
- 閲覧場所 日野市立教育センター3階図書室

※2階事務室へお声がけをしてください。

※上記期間後も8月末日まで同図書室で展示しております。